

温故知新のまちづくり

①入口と商店街を結ぶ街並み

芹橋地区の顔となるポケットパークとまちづくり組織「善利組」が運営するガイドツアー拠点併設した商業施設が一体となった賑わいのある空間を形成します。あわせて、建物や屋外空間を夢京橋キャッスルロードや四番町スクエアの街並みと調和させ、中央商店街、銀座商店街を結びつけ、まちを活性化させる回遊動線を形成します。



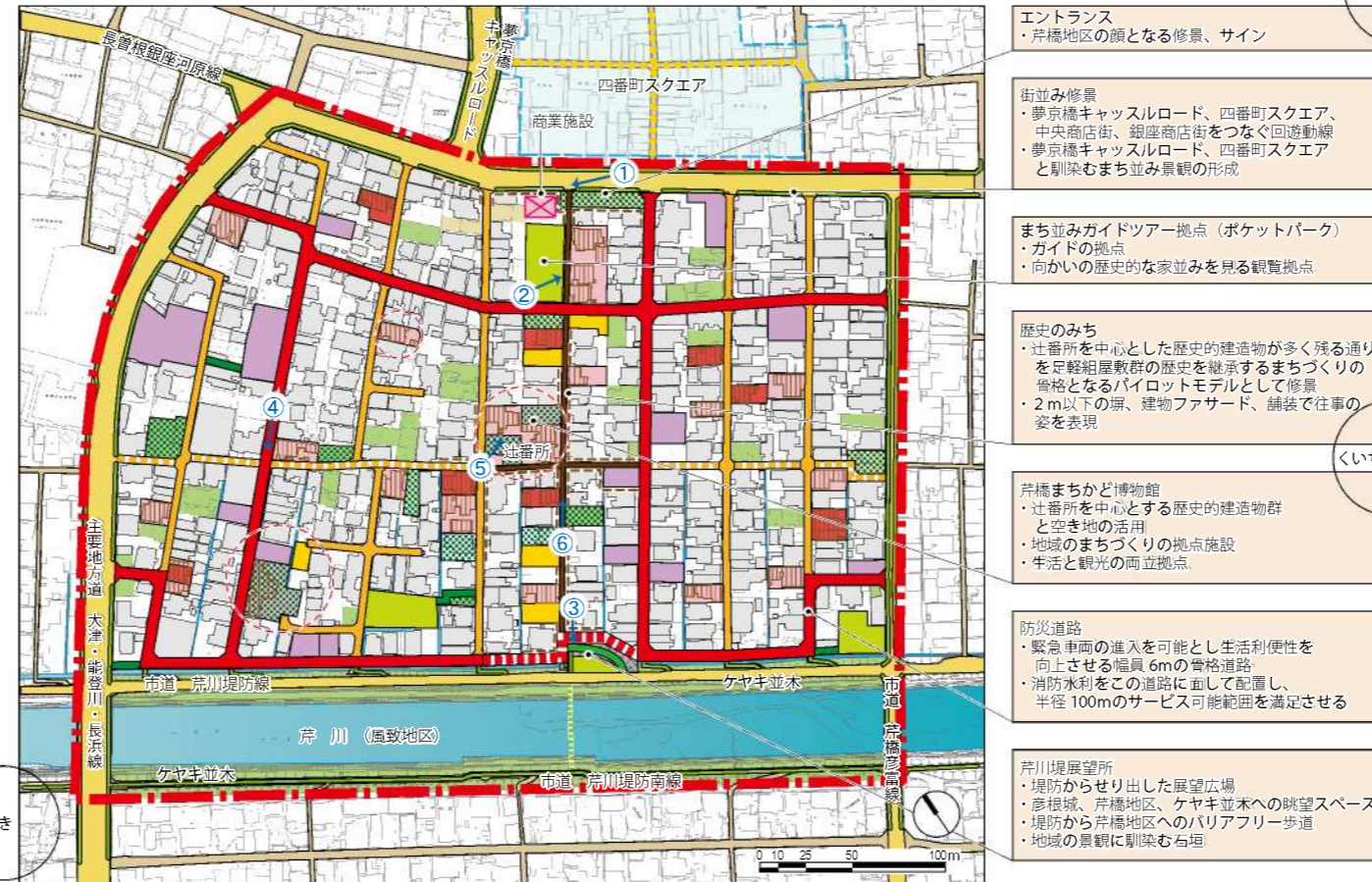
②まち並みガイドツアー拠点

集積している歴史的建物の道を挟んで向かいにあるまとまった空地を活用して芹橋地区の入口に設ける商業施設と一体となったまち並みガイドツアーの拠点を形成します。この広場から向かいの歴史的建物を眺め歴史に思いを馳せます。安価で芹橋地区を案内してくれる地域住民によるツアーガイドの待機拠点として機能します。ここは、街区公園としても機能し、災害時の一時避難地ともなります。



③芹川堤展望所

芹橋地区や彦根城への眺望を楽しむため、空地を活用し堤防からせり出した展望休憩スペースを整備します。周囲と調和した石垣とバリアフリーに配慮したスロープにより、辻番所から歩いてきた観光客をスムーズに芹川の堤防沿いの道路に導く動線を確保します。堤防下の水路は保存し、水路に沿って緊急車も通行可能な歩行者専用道路を整備します。



- ① エントランス
 - ・芹橋地区の顔となる修景、サイン
- ② 街並み修景
 - ・夢京橋キャッスルロード、四番町スクエア、中央商店街、銀座商店街をつなぐ回遊動線
 - ・夢京橋キャッスルロード、四番町スクエアと馴染むまち並み景観の形成
- ③ まち並みガイドツアー拠点(ポケットパーク)
 - ・ガイドの拠点
 - ・向かいの歴史的な家並みを見る観覧拠点
- ④ 歴史のみち
 - ・辻番所を中心とした歴史的建造物が多く残る通りを足軽組屋敷群の歴史を継承するまちづくりの骨格となるパイロットモデルとして修景
 - ・2m以下の塀、建物ファサード、舗装で往事の姿を表現
- ⑤ 芹橋まちかど博物館
 - ・辻番所を中心とする歴史的建造物群と空き地の活用
 - ・地域のまちづくりの拠点施設
 - ・生活と観光の両立拠点
- ⑥ 防災道路
 - ・緊急車両の進入を可能とし生活利便性を向上させる幅員6mの資格道路
 - ・消防水利をこの道路に面して配置し、半径100mのサービス可能範囲を満足させる
- ⑦ 芹川堤展望所
 - ・堤防からせり出した展望広場
 - ・彦根城、芹橋地区、ケヤキ並木への眺望スペース
 - ・堤防から芹橋地区へのバリアフリー歩道
 - ・地域の景観に馴染む石垣

④まちのみち(生活・防災道路)

優先して整備する緊急車両の進入を可能とする幅員6mの道路で、消防水利をこの道路に面して配置し半径100mのサービス可能範囲を満足させます。地区計画を基本に建築基準法によるセットバックの活用と細街路整備助成制度をうまく組み合わせ6mを確保します。拡幅した道路は新しい生活を支える道路として道路に面した花壇や庭の樹木により緑溢れる空間を形成します。



⑤芹橋まちかど博物館

辻番所と周辺の歴史的建造物、空地を一体的に整備した地域の街づくりの拠点を形成します。芹橋地区の歴史や生活を紹介するミニ博物館、彦根にのみ残るカラムの遊び場、地域の生活に不可欠だった井戸、街並み修景の相談窓口、まちづくりを担うまちづくり組織「善利組」の拠点を整備します。



⑥歴史のみち(観光の軸)

辻番所を通り、歴史的建造物が比較的多く残っている南北の通りは足軽組屋敷群の歴史を継承するまちづくりの骨格として位置づけ、歴史的建造物の保存、歴史的建造物と調和した建物ファサードの修景、塀や屋敷林、舗装の修景を施し往事の姿を再現します。2.7m幅員を保持した歩行者中心のファサード修景とともに、空家を活用したカフェや小売店等を配置し、街並み観光の主要動線として位置づけ、他の住宅地への観光客の流入を極力少なくし、まちの活性化と生活の両立を図ります。



どんつき

どんつき

どんつき

くいちがい

どんつき